

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 30 日

山口県知事 様

提出者

住 所 山口県光市島田2丁目25番12号

氏 名 時盛建設株式会社

代表取締役 時盛 純

電話番号 0833-71-1070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	時盛建設株式会社
事業場の所在地	光市島田2丁目25番12号
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3450.5 t	全処理委託量	3450.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	15.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2840.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和6年度実績)

多量排出事業者 名 称	時盛建設株式会社	所在地(市町名)	光市	事業の種類	総合工事業
-------------	----------	----------	----	-------	-------

区分	種類	計 画 の 実 施 状 況																				
		①排出量	② 自ら直接再生 利用した量	③ 自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	④ 自ら中間処理し た量	⑤ ④のうち熱回収 を行った量	⑥ ④のうち熱回収 した後の残量	⑦ ④のうち中間処理に より減量した量	⑧ ④のうち中間処理 した後、再生 利用した量	⑨ ④のうち中間処理 した後、自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩ ④のうち中間処理した ものの処理委託 量	⑪ ④のうち再 生利用者への 処理委託量	⑫ ④のうち中間 処理業者への 処理委託量		⑬ ④のうち最終 処分処理業者 への処理委託 量		⑭ ④のうち最 終処分処理業 者への処理委 託量	⑮ ④のうち最 終処分処理業 者への処理委 託量	⑯ ④のうち最 終処分処理業 者への処理委 託量	⑰ ④のうち最 終処分処理業 者への処理委 託量		
産業廃棄物	燃え殻									0	0			0		0						
	汚泥									0	0			0		0						
	廃油									0	0			0		0						
	廃酸									0	0			0		0						
	廃アルカリ	0.140								0.140	0	0		0.140	0.140			0.140				
	廃プラスチック類	174.583								174.583	0			48.510	48.510			126.073	126.073			
	紙くず	49.080								49.080	27.990	27.990		21.090	21.090			0				
	木くず	340.183								340.183	340.183	340.183		0				0				
	繊維くず	0.180								0.180	0			0				0.180	0.180			
	動植物性残さ									0	0			0				0				
	動物系固形不要物									0	0			0				0				
	ゴムくず									0	0			0				0				
	金属くず	25.651								25.651	25.651	25.651		0				0				
資源物	ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず	101.870								101.870	36.490	36.490		0				65.380	65.380			
	鉱さい									0	0			0				0				
	がれき類	1,172.868								1,172.868	914.478	914.478		0				258.390	258.390			
	動物のふん尿									0	0			0				0				
	動物の死体									0	0			0				0				
	ばいじん									0	0			0				0				
	13号廃棄物									0	0			0				0				
計 (A)		1,864.555	0	0	0	0	0	0	0	1,864.555	1,344.792	1,344.792	0	69.740	69.740	0	450.023	450.023	0	0.140	0	0

①排出量	②+③自ら再 生利用を行っ た量	⑤自ら熱回収 を行った量	⑦自ら中間処 理により減量し た量	③+④自ら埋立 処分又は海洋 投入処分を行 った量	⑩全処理委託 量	⑪優良認定処 理業者への処 理委託量	⑫再生利用業 者への処理委 託量	⑬熱回収認定 業者への処理 委託量	⑭熱回収認定 業者以外の熱 回収を行う業 者への処理委 託量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.140	0	0	0	0	0	0.140	0.140	0	0
174.583	0	0	0	0	174.583	0	0	0	0
49.080	0	0	0	0	49.080	0	27.990	0	0
340.183	0	0	0	0	340.183	0	340.183	0	0
0.180	0	0	0	0	0.180	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25.651	0	0	0	0	25.651	0	25.651	0	0
101.870	0	0	0	0	101.870	0	36.490	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,172.868	0	0	0	0	1,172.868	0	914.478	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,864.555	0	0	0	0	1,864.555	0	1,344.792	0	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.14

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.14

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0.14

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

項目	実績値
①排出量	0.14
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.14
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量

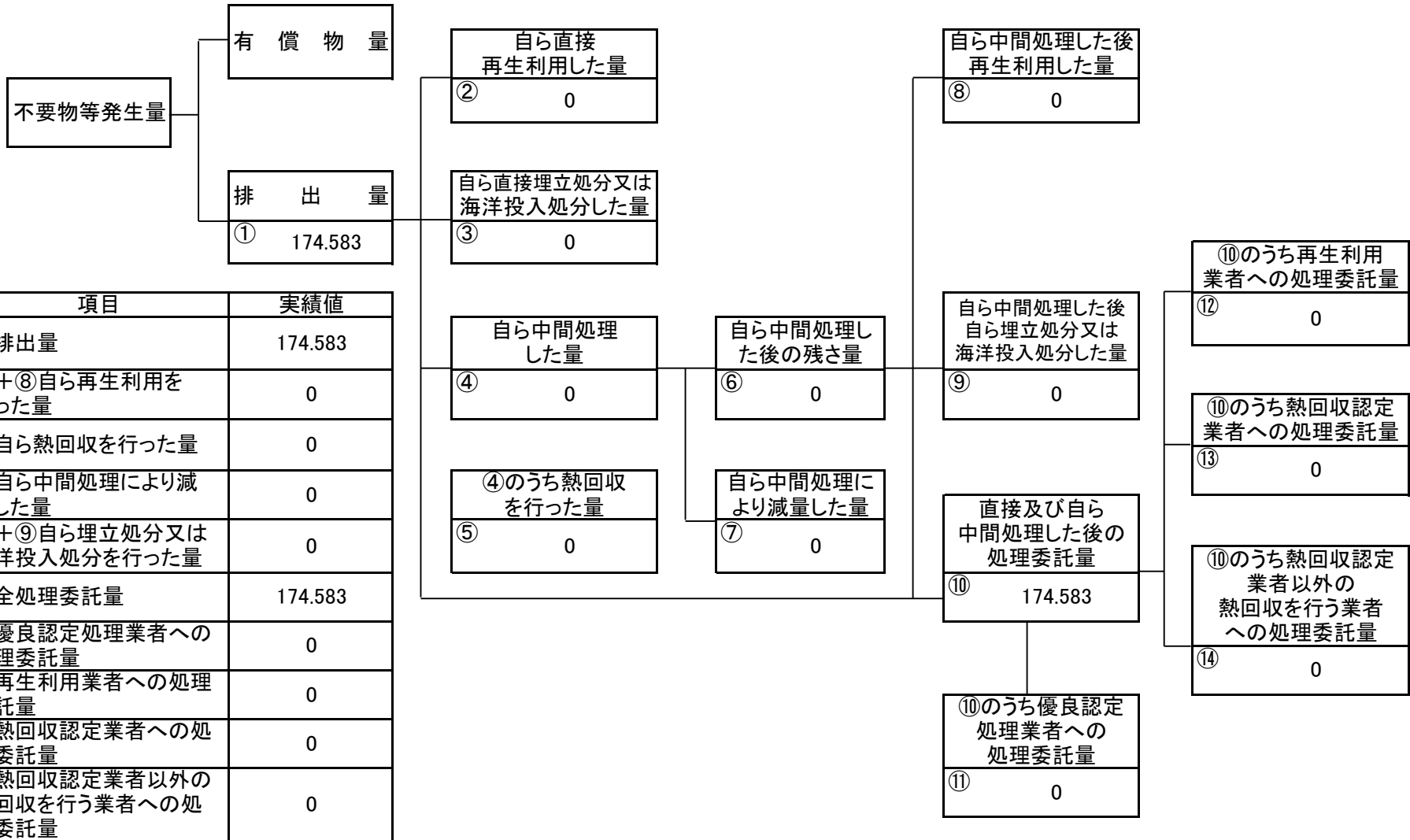
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量

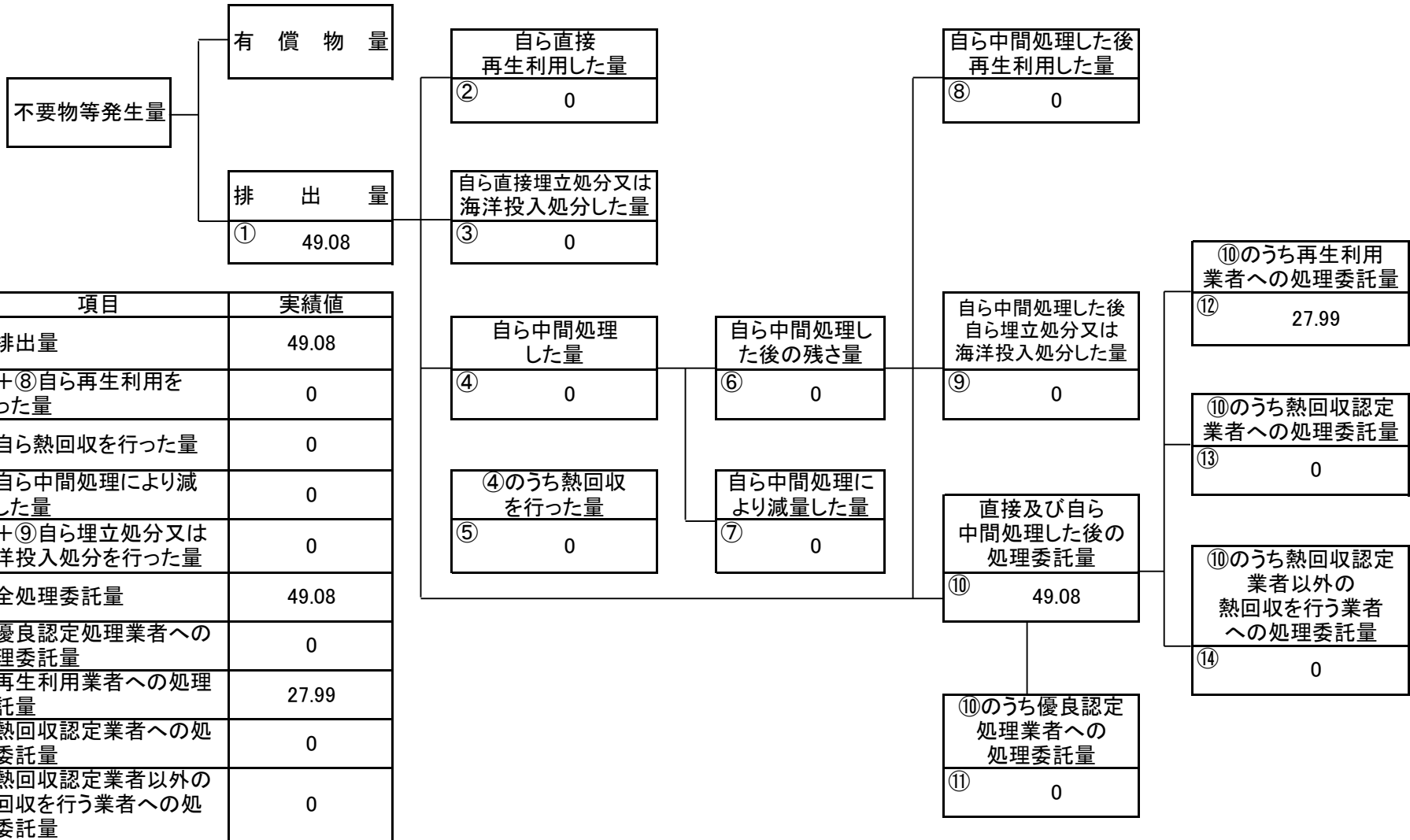
⑦ 0

(第2面)

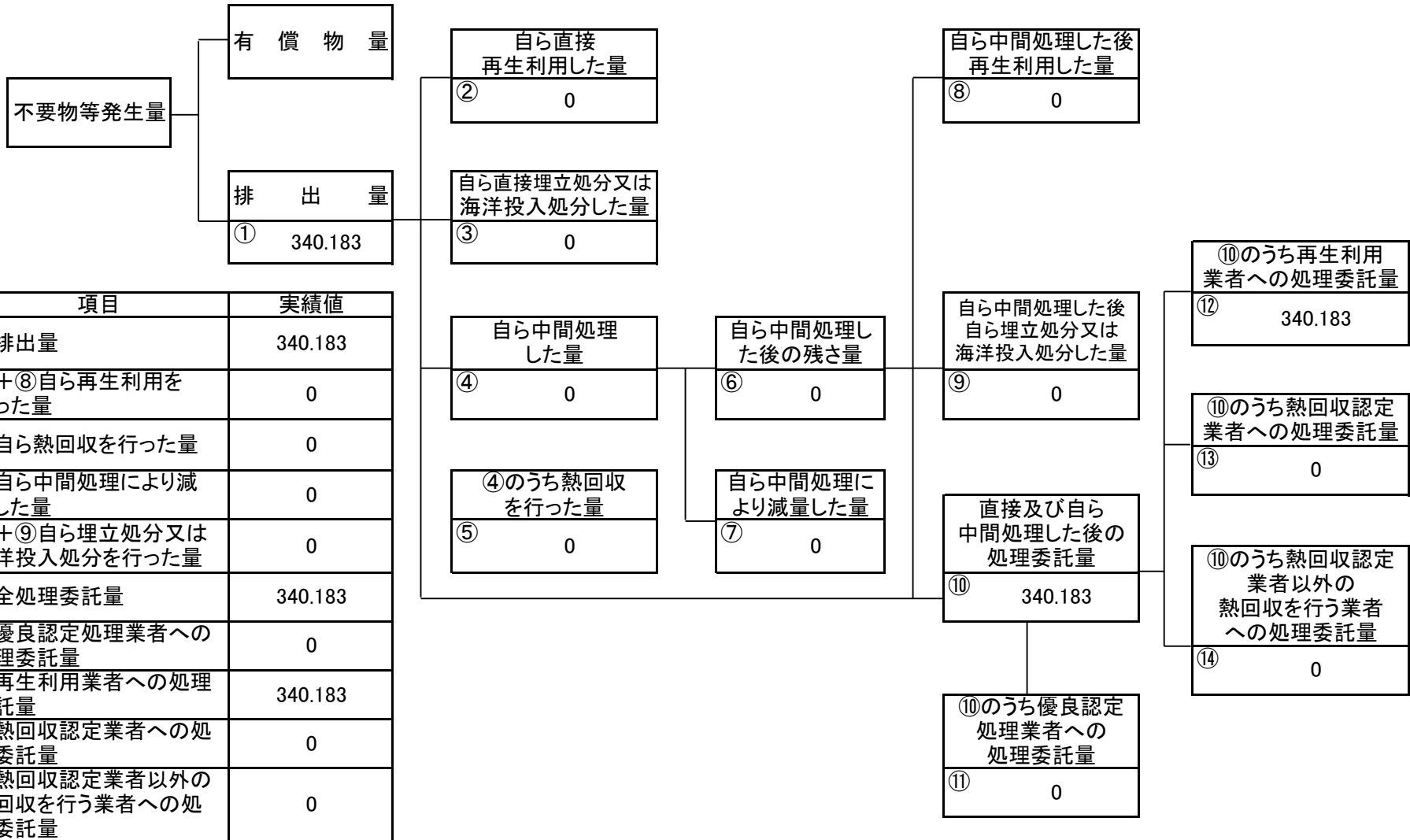
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



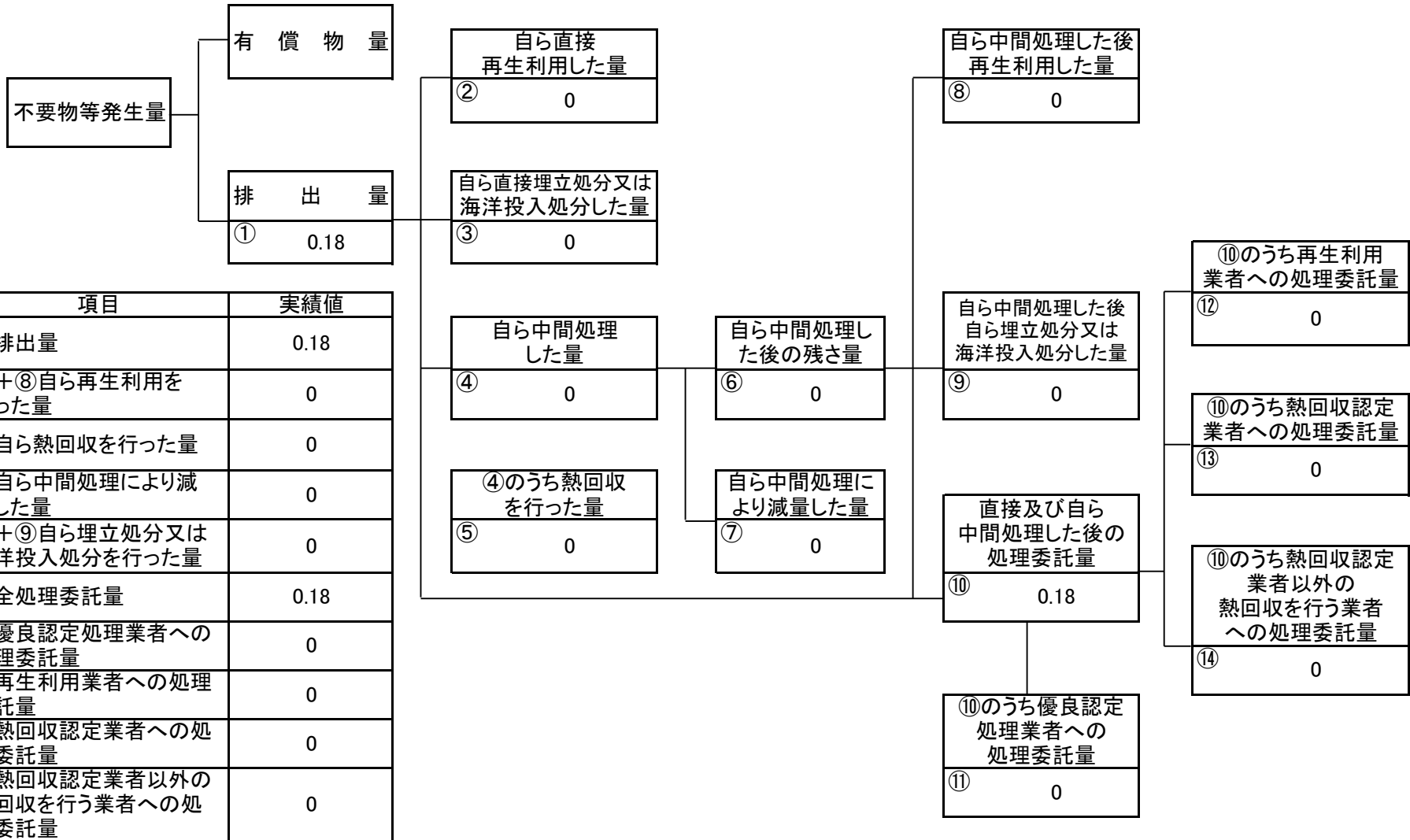
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 紙くず)



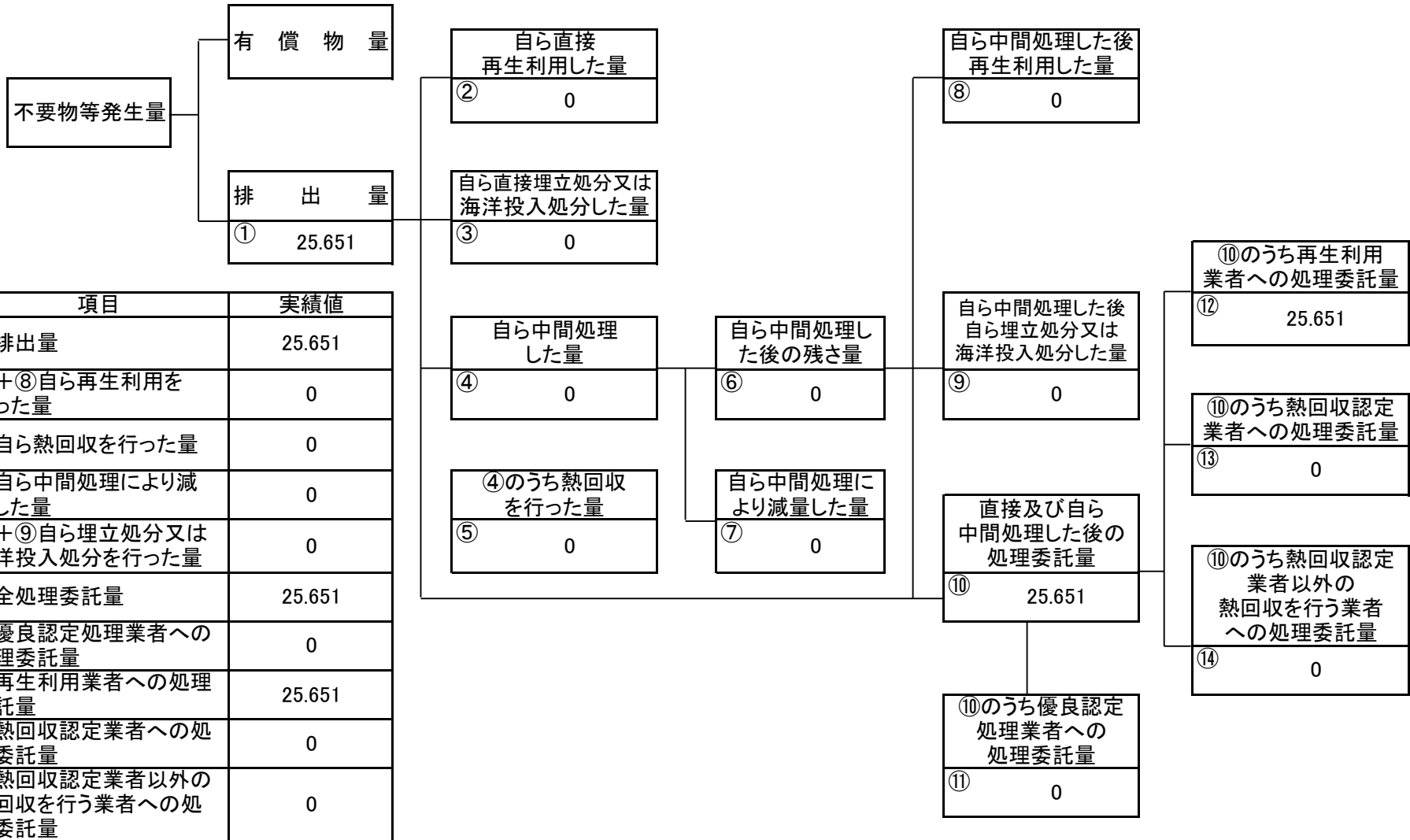
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)



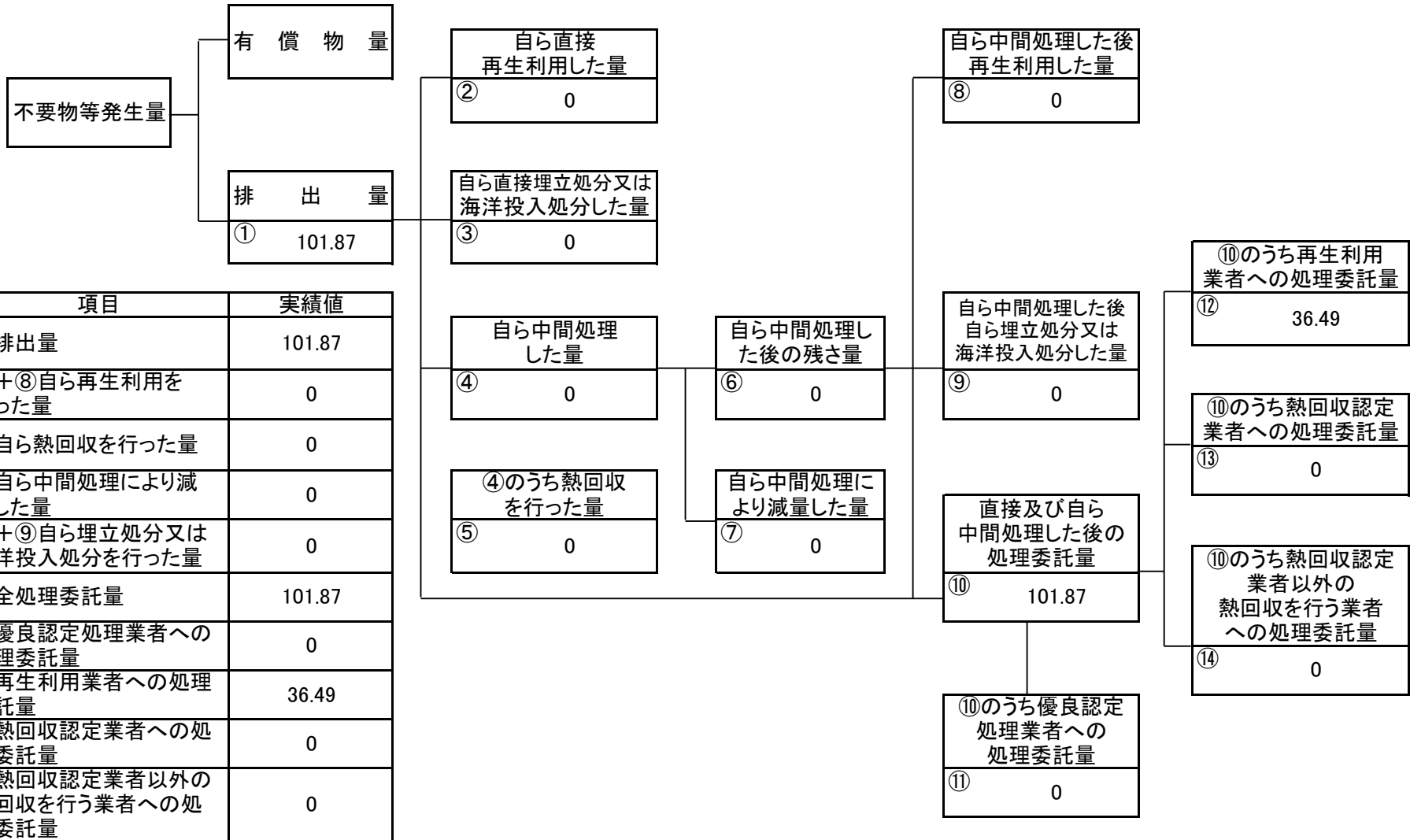
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 繊維くず)



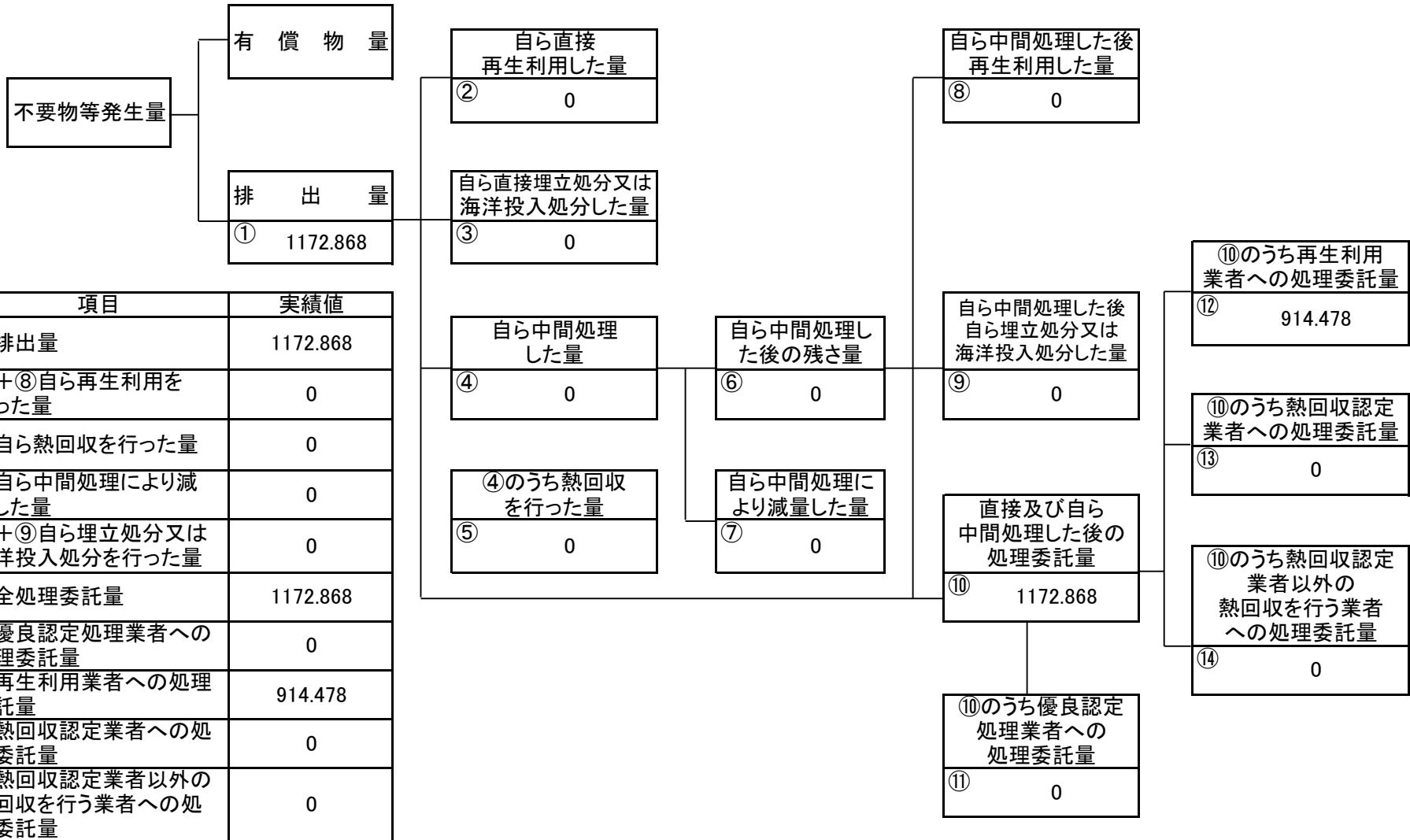
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず)



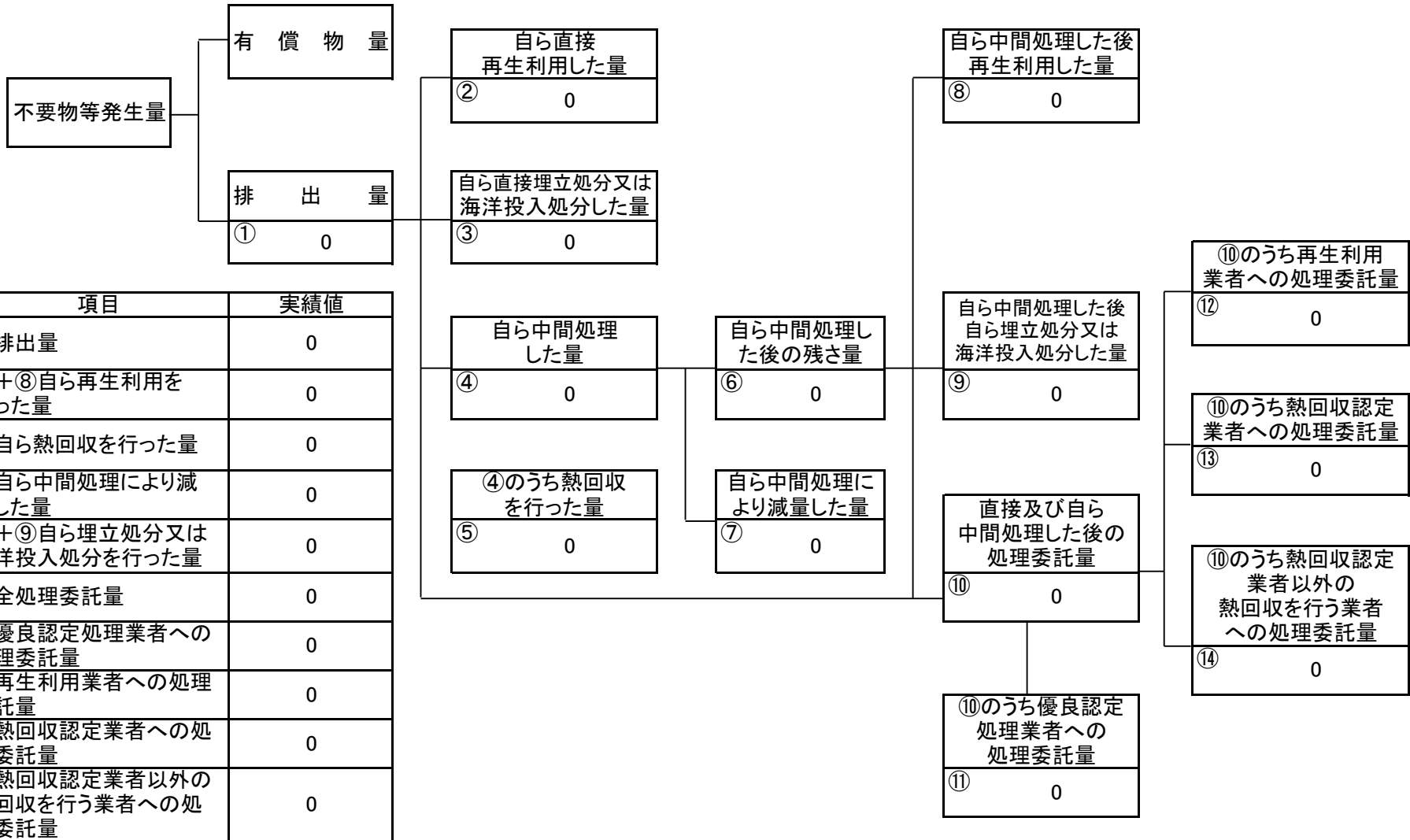
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 13号廃棄物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。